Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

とべzoo

2024
Vol-36
No.2

目次

Keeper's Note ---------- 3
ZOO ダイアリーグラフ ---------- 4
飼育レポート ---------- 6
とべとべCOMIC ----------10
動物園再発見 ----------12
ノスタルジック ズー ----------14
職員紹介 ----------16
読者投稿用紙 ----------17
ルトラーをさがせ ----------19

―表紙説明―

■キュウシュウジカ
英名：Sika Deer
学名：*Cervus nippon nippon*

日本に生息しているニホンジカは、エゾシカ、ホンシュウジカ、キュウシュウジカ、ツシマジカなどの 7 亜種に分けられ、夏毛は茶褐色に白い斑点があり、冬毛は濃い灰褐色に変わります。また、オスだけに角があります。この角は、春ごろに抜け落ちますが、秋には立派に生え変わり、メスをめぐる争いに使われます。

とべ動物園では、6 月 29 日に約 12 年ぶりの赤ちゃんが誕生しました。お母さんの側で元気に成長中です。ぜひ、会いに来てください。

（写真：横手 凱・文：村上 ひなの）

Keeper's Note

☆オスのジャガー誕生と成長記録☆

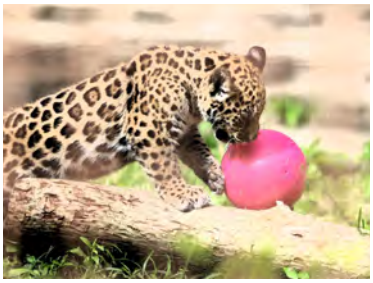
2024 年 2 月 10 日に 1 頭のジャガーの赤ちゃんが誕生しました！名前は来園者の方から募集した名前の内、最も投票数の多かった「琥珀（こはく）」に決定しました。体毛と同じオレンジ色の宝石が名前の由来です。母親のミワはとても子育てが上手で、現在も元気にすくすくと成長しています。その成長の記録を、写真とともに振り返りたいと思います。

生後 2 週間の琥珀

4 月 15 日には初めて運動場に出る練習を行いました。最初は写真のように出入口まで来ては寝室に帰りを繰り返し、とても慎重な様子をみせていましたが、1 時間ほどかけてやっと運動場に出ると、少しずつ運動場を歩き回るようになりました。飼育員 1 年目の私も、とてもドキドキしたものの、いざ始まると「がんばれ！」と親のような気持ちになって見守りました。

初めて運動場に出る練習をした琥珀

何回も練習をくり返し運動場に慣れてくると、元気いっぱいに走り回ったり、大好きなおもちゃで遊んだりと、活発に動く姿が目立つようになりました。それは夕方もなかなか寝室に帰ってこないほどであり、その様子をうれしく思うのと同時に、少し困ったなーと思っています（笑）。これからも元気いっぱいに成長してほしいです。ちなみに、琥珀は写真に写っているピンク色のブイのおもちゃがお気に入りです！



大好きなおもちゃで遊ぶ琥珀

おもちゃで遊ぶのが大好きな琥珀ですが、もう一つ好きなことがあります。それは、お母さんのミワと一緒に遊ぶことです。よくお母さんの体に飛び乗ったり、おもちゃの取り合いっこをしたりしています。毎日のように琥珀の成長を感じる日々ですが、こういった親子の仲睦まじい様子は今も変わっていません。また、遊び疲れた時は高台の上などで親子そろって休んでいることもあり、そういった姿も見ていて癒されるので注目です！

じゃれあう親子

ここまで琥珀の成長の記録を見てきましたが、約半年という期間の中でも琥珀の様々な一面が垣間見えたかと思います。当園においては初めてのジャガーの成育ということで皆様の注目を集めていますが、これからも琥珀らしく元気いっぱいに成長してくれることを願いながら、日々の飼育に携わりたいと考えています。

（薄田 翔太）

ZOOダイアリーグラフ

2024.5.1～2024.7.31

1日園長・キーパー 5月5日

こどもの日にちなんで、近隣の小学生が当園の園長とキーパーを務めました！飼育体験や園内の巡視などを通して、動物園の仕事に少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです♪

オウム・インコデー 6月15日

06（オウム）15（インコ）にちなんで、6月15日はオウム・インコの日とされています。今年も園内の各獣舎でガイドが行われ、みなさんに彼らについて知っていただくことができました！

名前が決まりました！

今年誕生した動物たちの名前が続々と決まりました！名前を考えてくださったみなさん、投票してくださったみなさん、ありがとうございました！

ジャガー

琥珀（こはく）

ココロ

アシカ

ライオン

モネ　アネ

つくし

【毎月のガイド】

- 毎日「ペンギンのお食事タイム」
- 毎日「テンジクネズミのひみつみーつけた！」
- 毎土・日曜日・祝日「ヒポヒポランチ」（有料）
- 毎土・日曜日・祝日「ゾウ様のブランチ」（有料）
- 毎日曜日「キリンの瞳に大接近」（有料）
- 毎日曜日「ZOOタイム1130」
- 第2土曜日・第4日曜日「ボランティアガイド」

＊有料ガイドのチケット販売は管理事務所で行っています。

＊動物の体調や天候により中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

出産報告

5月15日　オシドリ（不明2）
5月16日　カルガモ（不明5）
5月19日　アカカンガルー（♂1）
6月　2日　オシドリ（不明4）
6月　2日　カリフォルニアアシカ（♀1）
6月21日　アカカンガルー（♂1）
6月27日　アカカンガルー（♀1）
6月29日　キュウシュウジカ（不明1）

元気に大きく育ってね♪

キュウシュウジカ

アカカンガルー

オシドリ

搬出報告

7月16日　プレーリードッグ（♂1）

今までありがとう！元気でね！

搬入報告

7月29日　ヨツユビハリネズミ（♂1♀1）
　　キイロアナコンダ（♂1♀1）

これからよろしくね！

ヨツユビハリネズミがやってきました！今後の繁殖に期待しています♪

シンくんとハクちゃん

死亡報告

5月　2日　マガモ（♀1）
5月　3日　チュウゴクワニトカゲ（♀1）
5月17日　オシドリ（不明1）
5月17日　カルガモ（♂1♀1）
5月27日　ムツオビアルマジロ（♀1）
6月　3日　フンボルトペンギン（♂1）
7月　1日　テンジクネズミ（♀1）
7月　1日　ヨツユビハリネズミ（♀1）
7月　5日　トラ（♂1）
7月18日　ショウガラゴ（♀1）
7月24日　ムササビ（♂1）

トラのダイ（♂）が7月5日に亡くなりました。多くの方からお花をいただきました。ダイのことを偲んでいただき、ありがとうございました。

ありがとう、やすらかに…

飼育レポート

コリデール（老齢個体）の飼育管理について

契約職員　村上ひなの

☆はじめに

とべ動物園で飼育していたコリデールのスミレは2006 年生まれでしたが、17 歳の誕生日を過ぎた2023 年 4 月頃から加齢に起因すると思われる異変が見られ始めました。そのため、スミレが亡くなる 11 月までの間に様々な治療やケアを行いました。今回は、その内容やその時のスミレの様子などについて報告します。

☆種類・個体の紹介

コリデールは、ニュージーランド原産のヒツジの品種で、毛肉兼用種として世界各地で飼育されています。特徴は、顔面と四肢が白く、それ以外の体の部分が羊毛で覆われており、羊毛の長さは一年で 10 ～ 15cm になります。オスメス共に角はなく、体重はオス約 90kg、メス約 60kg で、平均寿命は約 10 ～ 12 年と言われています。

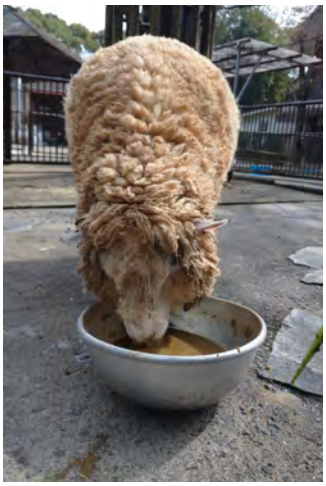
元気なスミレ

個体名：スミレ　性別：メス　死亡時年齢：17 歳
2006 年 3 月 7 日　　安佐動物公園生まれ
2009 年 1 月 26 日　安佐動物公園から搬入

スミレは警戒心が強く、人に触られたり近づかれたりすることが苦手でしたが、食べることが大好きで、いつも一番にエサを食べていました。また、6 頭の子どもを育てた立派なお母さんでした。同じく高齢個体のワラ（メス）、サクラ（メス）と同居し、朝 8 時半～ 9 時半までの間に放飼し、体の負担を考えて 14 時半には寝室に収容していました。

☆起立不能に至るまで

4 月から 9 月までの経緯を表 1 にまとめました。17 歳とコリデールとしてはかなりの高齢個体であったスミレは、食欲はあるものの加齢によるものか 4 月頃から削痩が目立つようになりました。そのため、乾草や野菜、濃厚飼料などの通常給餌に加えて、ZC（草食獣用固形飼料）をお湯または水でふやかして毎日与えることで、採食量と摂取カロリーを増やすようにしました。



ふやかしたＺＣを食べる様子

5 月に入ってから寝室で座っている時間が長くなり、右後肢を跛行（はこう）するようになったため、褥瘡（じょくそう）を防止するために寝室にオガクズや乾草などの床材を敷きました。右後肢は、鎮痛剤を投与して回復傾向にありましたが、6 月に再発し、飛節の内側が腫脹して熱感がありました。さらに鎮痛剤の投与や軟膏の塗布などを行いましたが、回復には至りませんでした。レントゲン撮影をしたところ、骨に異常は認められず、「関節炎」と診断されました。その後、冷却シートをつけることで熱感が和らぎ、腫脹も少し引いたように思いました。7 月からは暑さ対策のため、床材をマットに変更しました。また、関節炎用に抗生剤を投与したところ、肩のあたりの筋肉が硬くなってしまったため、すぐに中止しました。この頃から、視力が低下すると共に頭を下げた姿勢で歩くようになり、いろいろなものに当たって擦過傷が

表１　症状と対策

	症状	対策
４月	・削痩目立つ	ZC（草食獣用固形飼料）を水でふやかして柔らかくし追加で給餌する
５月	・寝室で座っている時間が長い ・右後肢跛行	床材（オガクズ、乾草）を敷く 鎮痛剤を投与→回復
６月	・右後肢の跛行が再発 →飛節の内側が腫脹、熱感あり ・関節炎	鎮痛剤を投与→回復せず 軟膏を塗布→回復せず レントゲン撮影→骨に異常なし、「関節炎」と診断 冷却シート装着
７月	・寝室で座っている時間が長い ・関節炎 ・頭をずっと下げている ・視力の低下→擦過傷	床材からマットに変更する 冷却シート継続、抗生剤を投与→硬結したため中止
８月 ８月 12 日	・関節炎 ・自力で立てない →食欲低下、息が荒い、擦過傷、血液検査（胆のうの数値悪い、貧血あり）	サプリメントをエサに混ぜて給餌→回復せず 腰を支えて補助すると立つ 利胆剤を投薬、擦過傷に軟膏を塗布 単独で寝室管理とし、放飼を中止する
９月	・擦過傷増える、たんこぶ ・脚力の低下	軟膏を塗布 自力で立てるまで体を支えておく、無理をせず休憩も挟みながら補助を続ける

左後肢と跛行していた右後肢

できるようになりました。８月は、関節炎の治療としてサプリメントを与えていましたが、回復の兆候は見られませんでした。そして 12 日の朝、自力で立ち上がれず、食欲低下や息が荒いなどの症状が見られました。血液検査を行ったところ、胆のうの機能低下と貧血が認められました。胆のうには利胆剤を投薬し、様子を見ることとなりました。また、うまく立ち上がれず顔周りに擦過傷が増えるようになったため、患部に軟膏を塗りました。これ以降放飼を中止し、終日寝室にて単独で管理することにしました。放飼場での転倒防止と他の個体に邪魔されずに採食できるようにするためです。寝室の掃除および日光浴のために週１回の頻度で放飼しましたが、他の個体と同居すると食い負けてうまく採食できず、段差などにつまずいて転倒する様子も見られたため、短時間の放飼にしました。管理する寝室内は、マットを床全面に敷き、当たって怪我をしそうなところには毛布をかけて対策しました。８月で暑い日が続いていたので扇風機は常につけておくようにし、窓は全開にしました。このときの給餌内容は乾草のオーツヘイを粉末状にした物、青草（2、3cm の長さにカット）、野菜類（ハクサイ・ニンジン・リンゴをみじん切り）、濃厚飼料で、トレーに入れて食べやすいように置いておきました。９月からさらに擦過傷が増え、皮下血種（たんこぶ）もできていたため軟膏を継続して塗り続けていましたが、体力や治癒力なども衰え始めているのか、なかなか完治には至らない状態でした。脚力の低下も見られ、起立補助をすればすん

表２　症状と対策

	症状	対策
9 月 11 日	起立不能 →血液検査の結果は前回より改善されていたため足腰の筋力低下が原因と思われる ベッドの上にいる様子	利胆剤を終了 1 日 1 回、補液および消化機能を助ける薬を投与 体を支えて立つ態勢にしながらエサを食べさせ、排泄、排尿を促し足腰のマッサージを行うがなかなか立てない 座位姿勢、寝たきり時のケア ・マットの上に毛布を敷き、その上に寝かせる ・臀部の下にペットシーツを敷く ・濡れタオルで体全体を拭く ・床の掃除をする時は、ベッドの上に移動 ・日中と夜間で体の向きを変える ・赤くなっているところに軟膏を塗布 ・エサはミキサーでペースト状にする
10 月 10 月 13 日 10 月 16 日 10 月 24 日	足先の冷え 眼球に傷 小さな褥瘡 座位姿勢とれなくなる →足をバタバタと動かす 夜間動いている様子あり 両前肢に褥瘡 食欲低下（3 日ほど食べない） 痙攣 排泄、排尿が 2、3 日に 1 回 結膜炎（右目） 舌が出たままになっている 唾液、鼻水もよく出る	靴下をはかせる、夜間は掛布団やタオルケットをかける 眼軟膏を塗布 褥瘡専用軟膏を塗布 左前肢の褥瘡 治療内容 ・生理食塩水で洗浄→イソジン消毒→褥瘡専用軟膏を塗布 ・治療後患部をガーゼや紙おむつで塞ぐ ・虫よけスプレーをかける ・一度、駆虫薬を投与 強制給餌 鎮静剤を朝と夕方に投与 →投与後、すぐに熟睡、痙攣なくなる 尿は尿道口をタオルなどで刺激すると出る 眼軟膏を塗布 頻繁に拭きとる
11 月 11 月 21 日 11 月 22 日 11 月 23 日	結膜炎（左目） ガス貯留 下痢 下痢 皮膚の血色悪い 9 時 45 分頃、死亡を確認	眼軟膏を塗布 消化促進剤を投与、エサの量の調整 野菜の給餌を中止

なり立てていたものがだんだん座り込んで倒れてしまう回数が増え、起立までに体を支えておく時間も増え始めていました。なるべく立たせておきたかったため、休憩も挟みながら補助を続けていましたが、9 月 11 日には支え続けても足に力が入らず、起立不能となってしまいました。

寝室内で過ごすスミレ

☆起立不能となってから

起立不能となった 9 月 11 日から 11 月までの経緯を表 2 にまとめました。血液検査の結果、胆のうの数値は改善されていたため、投薬は終了しました。しかし足腰の筋力低下からか、１週間ほど起立補助をしながら立つ訓練を続けても立ち上がれるようにはならず、栄養分の補給および消化機能を助けるために毎日の補液も欠かせなくなりました。その後、寝たきりとなってしまい、寒さ対策や褥瘡予防のための様々なケアが必要でした。10 月に入り気温が低下してくると、寒さ対策のために靴下や掛布団、タオルケットなどを使用しました。この頃から眼球の傷や小さな褥瘡がみられていたため、眼軟膏および褥瘡専用軟膏を塗る治療を続けました。10 月 13 日からは座位姿勢をとることができなくなり、常に寝たきりの状態で食欲も低下しました。10 月 16 日には、左前肢に大きく進行した褥瘡を発見し、念のため右前肢も確認したところ小さな褥瘡がありました。これらについては、固まった羊毛の下の皮膚にできていたため発見が遅れてしまいました。その日から褥瘡の治療も開始し、患部をウジ対策としてガーゼや紙おむつなどで塞ぎ、家畜用の虫よけスプレーをかけたり駆虫薬の投与を行いました。その治療後から食欲がさらに低下し、３日ほど何も食べない状態となり、体が痙攣することが多くなりました。痙攣は徐々にひどくなりましたが、鎮静剤を毎日朝と夕方に少量ずつ投与すると、すぐに熟睡し痙攣しなくなりました。食欲が低下していたため、エサをペースト状にして歯がある口の奥まで無理やり入れる強制給餌を行ったところ、最初はなかなか食べませんでしたが、褥瘡と痙攣の回復がみられるとともに食欲も上がっていき、完食するまでになりました。その後も様々な症状が出て、対策と治療を続けました。11 月にはお腹にガスが溜まることが多くなり、消化促進剤の投与や、エサの量の調節をしましたが、11 月 21 日に容体が急変、下痢が続き、23 日の朝には皮膚の血色が悪くなり、9 時 45 分頃眠るように亡くなりました。

寝たきりの様子

☆考察

今回、過去に寝たきりとなってしまった個体たちの経験を活かしながらケアを行っていくことができ、スミレは起立不能となってから約 2 か月半生きることができました。しかし、褥瘡ができてしまっただけでなく、それに気づくのが遅くなってしまったことにより、多大な負荷を与えてしまったことなど今後の課題が見つかりました。また、私達飼育員側も精神的、体力的に負担が大きく、介護の大変さがよく分かりました。ポニー舎では、コリデール以外の動物たちも飼育しており、現在高齢化が進んでいる状態にあります。今回の経験を、さらに今後に活かしていけるよう精進していこうと思います。

ポニー舎で暮らす仲間たち

とべとべコミック TOBETOBECOMIC

動物園のなにげない一日

～ キケンな卵？ ～

卵には有精卵と無精卵があります。有精卵は雛が孵化する可能性がある卵で、親による抱卵や孵卵器での管理によって成長します。卵の中で成長が止まってしまうことを中止卵といい、後期に死んでしまうことを死ごもり卵といいます。

古くなった卵は、卵内が腐敗してガスがたまっている場合があります。爆発卵とも呼ばれ、ちょっとしたきっかけにより大きな音をたてて爆発します。大きなダチョウの卵の場合は特に注意が必要となります。

動物園再発見

第 42 回　野間馬

野間馬は愛媛県今治市の乃万（野間）地方で飼育されてきた、日本最小の在来馬（日本固有の馬）です。今治市の天然記念物に指定されています。

【分類】　奇蹄目　ウマ科
【英名】　Noma Horse
【学名】　*Equus caballus*

特徴

頭が大きく、
たてがみが多い

お尻が短く、斜尻

※斜尻とは横から見て尻の角度が斜めに下がっている（45 度ほど）形状をいいます。

蹄が堅く、
蹄鉄がなくても大丈夫

体高は 120cm以下で
寸胴な体形

穏やかな性格で体が丈夫であることから、荷物の運搬用に重宝されていました。しかし農業の機械化により、一時は愛媛県内でわずか 4 頭にまで減少しました。その後、今治市の「のまうまハイランド」を中心に保護活動が行われ、現在ではのまうまハイランドの他に、上野動物園などでも種の保存と教育普及活動のために飼育されています。

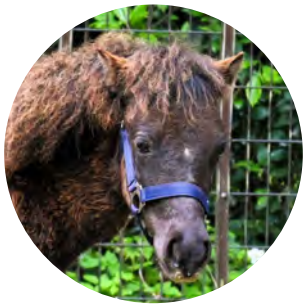
とべ動物園で暮らす野間馬

光星（オス）

2014年1月1日うまれ
スイギュウ舎の隣で飼育しています。スイギュウに興味津々。

七実（メス）

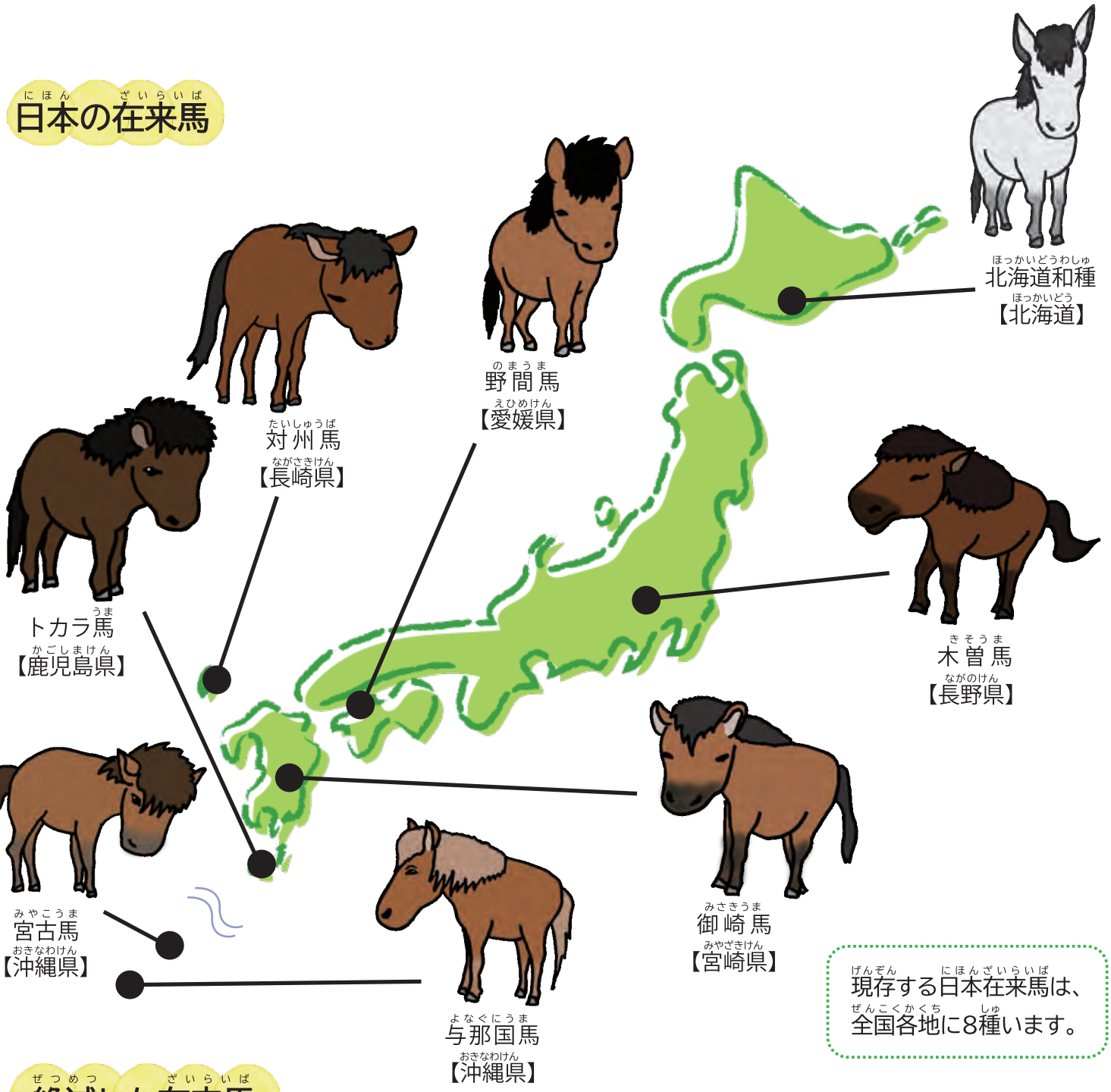
1999年7月 3 日うまれ
今はおとなしいですが、昔はかなりのおてんばでした。



みく（メス）

2023 年5月25日うまれ
今年の4月に、のまうまハイランドからやってきました。

日本の在来馬



現存する日本在来馬は、
全国各地に8種います。

絶滅した在来馬

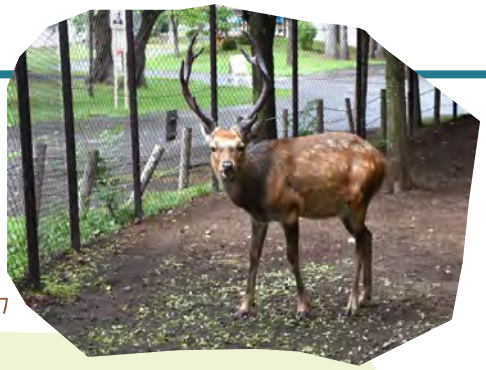
南部駒【岩手県】、三春駒【福島県】、甲斐駒【山梨県】、三河馬【愛知県】、能登馬【石川県】、土佐馬【高知県】、日向馬【宮崎県】、薩摩馬【鹿児島県】、ウシウマ【種子島】など、かつては他にも在来馬が生息していました。

しかし明治時代になると、外国から馬が入ってくるようになり、改良された大きい馬が好まれ、これらの在来馬は絶滅しました。現存する在来馬たちも数が少ないため、保護に取り組んでいます。

ノスタルジック ズー

みなさん、お久しぶりです

かつてとべ動物園で働き、夢を追い旅立っていった仲間たちを紹介するコーナー
今回は北海道にある札幌市円山動物園に勤める『池田智亮』さんです。



昨年度まで担当していたエゾシカ

とべ動物園ではたくさんの動物たちの写真を撮りました

皆様こんにちは。そしてお久しぶりです！札幌市円山動物園で飼育員をしている池田智亮です。円山動物園では昨年から働き始め、エゾシカ担当を経て現在はアジアゾウを担当しています。とべ動物園では2018年から5年間お世話になりました。とべ動物園での仕事は飼育員としてではなく主に企画広報としてイベント関係や報道対応、SNSの発信、動物写真の撮影などを担当し事務職員として働いていました。カメラが趣味ということもあり、魅力的な動物たちの写真を毎日たくさん撮影できたことはとても楽しかったです！とべZOOではVol-31No.1～Vol-34No.4の表紙も担当させていただいていました。「今回の表紙の写真良かったよ！」と声をかけていただく度に次の表紙も良い写真を撮ろうと頑張れました！本当にありがとうございます！（笑）

☆動物園紹介☆

札幌市円山動物園は1951年に北海道で初めての動物園として開園し、約22.5haの広大な敷地の中には147種686点（2024年5月末時点）の動物たちを飼育しています。動物それぞれの特性を活かしながら、のびのびと過ごせるよう「動物福祉」に配慮した飼育展示が行われており、2018年に「ホッキョクグマ館」、2019年に「ゾウ舎」、そして今年には「オランウータンとボルネオの森」がオープンし、動物たちの生息環境のことを学びながら、動物たちの生き生きとした本来の姿を観察する事が出来ます。

そして昨年8月19日には待望のアジアゾウの仔「タオ」も誕生しました！！

タオは1歳になりました

左からパール、タオ、ニャイン、シュティン

アジアゾウの親子を撮影できることに幸せを感じています

円山動物園では事務職員としてではなく飼育員として、とべ動物園で経験したことや学んだことを活かして北海道の冬の寒さにも負けずに働いています！

とべ動物園で働き始めたばかりの頃に、「動物園とは来園者の知的好奇心をくすぐり、動物や生き物に対して興味を持つきっかけを作っていける学びの場であり、その“きっかけ”を作れるのが動物園で働く職員だよ。」と、ある先輩の方に言われました。当時も今もその言葉を大切に、そんな飼育員になることが今の僕の目標です。

そのため円山動物園ではガイドなどを通して動物の魅力を伝えることにも力を入れて頑張っています！そして今でも変わらず動物写真をたくさん撮っています！動物園で撮影した写真が看板やグッズ、ポスターなどに使用されているので、とべ動物園で培った撮影スキルは活かされているのかな？と思っています。(笑)

来園者に向けたガイドも頑張っています！

愛媛からは少し遠いですが北海道へ来られた際には、ぜひ円山動物園にもお越しください！今でもとべ動物園の情報はチェックしているので動物たちの近況含め、「とべ動物園から来ました！」と気軽に声をかけてもらえると嬉しいです！皆様のお越しを心よりお待ちしてます！

(池田 智亮)

職員紹介

このページではとべ動物園で働く職員を紹介しています

★ 氏名を教えてください。

佐伯鈴音（さいきすずね）です。

★ 出身地並びに出身地でのエピソードなど。

愛媛県松山市出身です。幼い頃から動物が好きで、よくとべ動物園に遊びに来ていました。

★ 前職のお話を教えてください。

兵庫県、長崎県、熊本県にある動物園で飼育員をしていました。鷹のフライトショーをしたり、ビーバー、カピバラ、ラマ、ミーアキャット、アライグマ、マーラ、コンゴウインコ、フラミンゴなどの動物を担当していました。

★ 採用が決まった時の感想は？

本当に嬉しくて、飛び跳ねながら喜びました。とべ動物園で働くことをずっと目標にしていたので、諦めずに頑張ってきて良かったと努力が報われたと感じました。

★ 現在のお仕事は？

ヒョウとサーバルとアフリカゾウを担当しています。

★ 動物園の中で好きな動物は何ですか？

ヒョウです。担当になって初めて深く関わり好きになりました。鋭い牙を使って豪快に骨まで噛み砕いて食べる姿や、高い場所や草陰から獲物を狙う姿などのかっこいい本能を持っている一方で、ホースの水で遊んだり、甘えてきたりする姿などの愛嬌を見せてくれることもあり、ヒョウの虜になっています。

★ その他とべ動物園でのおすすめポイント（動物）などがあれば教えて下さい。

サバンナのパノラマ展示です。サバンナではキリンやシマウマ、エランド、ダチョウなどの動物が一緒に生活しており、また奥にはライオンも見え、一つの空間に共存しているように感じられます。サバンナは、広い空間で異種の関わりや行動が観察できるおすすめポイントです。

★ 今後やってみたいことはありますか？

ヒョウとサーバルの健康のためにトレーニングをしていきたいです。ヒョウやサーバルなどの動物は直接触れることができないため、体重を測ったり、採血をするにも麻酔で眠らせる必要があります。しかし、トレーニングをすることにより動物が自ら体重計に乗ったり、採血がしやすい体勢になってくれるようになります。それらのことを簡単に無麻酔で行えるようにすることで、ヒョウとサーバルの健康管理の向上に努めていきたいです。

★ 座右の銘を教えてください。

トーマス・エジソンの「私は失敗したことがない。ただ１万通りのうまくいかない方法を発見しただけだ。」という言葉です。失敗して落ち込むこともありますが、この言葉を糧に、うまくいかなかったことを全否定するのではなく、その理由を考え、改善する前向きな姿勢を心がけています。

★ 最後に意気込みをひとこと

新人でまだまだ未熟ですが、これからたくさんの経験と勉強に励み、動物と人を幸せにすることができる飼育員になりたいと考えています。園内で見かけたり、質問がある際は、気軽に話しかけてください。

読者投稿用紙

料金受取人払郵便

松山南局承認

1067

差出有効期間
2025 年 3 月
14 日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部　行

のりづけ②

のりづけ①

のりづけ③

きりとりせん

読者投稿用紙

(イラストや写真も同封できます)

読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。

Vol.３６-２号でよかった記事、つまらなかった記事は？

今後希望する記事・内容は？

ルトラーをさがせの答え
（正解者のお名前は
Vol.36-３号でご紹介します）

答え ◯ 匹

（クイズの問題はＰ２３参照）

例会でよかった点、つまらなかった点は？

例会で今後希望する企画は？

お名前		会員番号	★友の会　家族・個人 ★サポーター　No. 会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。
住所	〒	電話番号	

ルトラーをさがせ!!

ルトラー

「とべＺＯＯVol-36 No.２号」の中にルトラーが隠れているよ！ぜんぶ見つけて、その数を応募してね！

注意：このページのルトラーは含みません。

☆前回の解説とこたえ

「ZOO ダイアリーグラフ」
迫力満点 !! の上に出現！

「Keeper's Note」
トレーニングを見学中

正解は２匹でした

Vol.36-1 ルトラーをさがせ!! 正解者

★ 会員番号 No.76（家） 尾崎 ゆずさん
★ 会員番号 No.11 矢野 敬子さん
★ 会員番号 No.21 音地 秀起さん
★ 会員番号 No.50 森 幸子さん
★ 会員番号 No.52 田中 早苗さん
★ サポーター 川上 正行さん（咲良）さん
★ サポーター 望月 久子さん
★ サポーター 山崎 亜紀さん
★ サポーター 遠藤 敦子さん

正解の方々にはオリジナル缶バッジをお送りします。

応 募 要 項

読者投稿用紙の解答欄に「ルトラーをさがせ」の答えを記入して郵送するか、メールでお便り下さい。
10 月 10 日までにご応募ください。

開園案内

■開園時間 ― AM 9:00 ～ PM 5:00
入園午後 4:30 まで
■休 園 日 ― 毎週月曜日
（祝日の場合は翌平日）
年末年始
（12 月 29 日 ～ 翌年 1 月 1 日）
■入 園 料 ― 大 人 （18 歳 以 上 ）500 円
高校生（15～ 17 歳）200 円
小中校生（6～ 14 歳）100 円
（30 名以上の団体 2 割引）
■ホームページ ― https://www.tobezoo.com/
■メールアドレス ― info@tobezoo.com

とべＺＯＯ Vol-36 No.２号
令和６年発行
編集・発行人／公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印 刷／公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長／宮内 敬介
編集副委員長／佐々木 善基
編 集 委 員／宮越 聡・池田 敬明・山本 祥菜
岡田 郁・平澤 萌・村上 ひなの
森貞 恭治・白潟 綾・横手 凱

キュウシュウジカ

愛媛県立とべ動物園

〒791-2191　愛媛県伊予郡砥部町上原町２４０
TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示
申請者の氏名：公益財団法人　愛媛県動物園協会
事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町２４０
登録番号：動愛第４４１号（展示）、動愛第９９４号（販売）
　　動愛第９９５号（保管）、動愛第９９６号（貸出し）
登録年月日：平成１９年５月３１日（展示）
　　平成２９年５月３１日（販売、保管、貸出し）
事業所の名前：愛媛県立とべ動物園
動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し
動物取扱責任者の氏名：椎名　修
登録の有効期間の末日：令和９年５月３０日

定価　一〇〇円